

2021 年 2 月 12 日

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟
会長 山下 泰裕
専務理事 中里 壮也
新型コロナウイルス感染症対策委員会
医科学委員会

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について（通知）

平素より本連盟の事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて本連盟では、2020 年 7 月に「段階的練習と試合の再開指針」Version 2 を更新し、感染予防対策を十分にとった上で活動の再開をお願いしてまいりました。

しかし、感染状況の基準としていた緊急事態宣言が、以前とは大きく異なっており、今後
も変更する可能性があることから、「感染状況」、「地域・社会の状況」における**基準を外し、
練習や試合を行うチームや施設、組織で感染者が発生しているかどうかを基準とすること**
などを改訂し、指針 Version 3 を作成いたしましたのでお知らせします。

また、柔道において COVID-19 の発生を抑えるためには、感染例の調査解析が必要です。
指針 V3 の改訂に合わせ報告書の様式も一部変更しておりますので、COVID-19 の感染者・
濃厚接触者が発生したチームは速やかに全日本柔道連盟に報告書を提出するようご協力お
願いいたします。

COVID-19 に関しては、十分に解明されていない点も多く、また今後国やスポーツ庁な
どからコンタクトスポーツの再開や指針に関する通知が出される場合には、この指針に述
べられた内容を変更する必要があることを留意ください。

なお各段階の練習内容に関しては、あくまでも一つの指針として参考となるように出し
たものであり、自治体などの決定事項、施設の事情などを考慮して総合的に判断して下さい。

添付資料

1. (資料 1) 段階的練習試合指針 V3_20210210 PDF
2. (資料 2) 表 段階的練習再開 V3_20210210 PDF
3. (資料 3) COVID-19 感染者・濃厚接触者報告書 WORD
4. (資料 4) COVID-19 報告者一覧 EXCEL
5. (資料 5) COVID-19 感染者・濃厚接触者最終報告書 WORD

以上

お問合せ先

全日本柔道連盟事務局大会事業課 担当：大塚・渡辺

電話：03-3818-4392 メール：taikai@judo.or.jp

(参考)「指針 V3」の改定ポイント

1. 表(段階的練習・試合再開)の改訂

- (1) 「感染状況」、「地域・社会の状況」の欄の削除
- (2) 「練習時間」の延長
- (3) 「段階の期間」の短縮

【V2】(旧)

表：段階的練習・試合再開の状況と内容(指針改訂 Version 2) 2020/7/27

段階	感染状況	地域・社会の状況	柔道練習・試合の内容	人数制限(目安)	マスクの着用	練習時間	段階の期間
段階1	チーム内に感染者や濃厚接触者がいない。	緊急事態宣言解除、学校や部活動の一部再開。	相手と組まない練習 ：受身、筋力トレーニング、一人打ち込み、指導など。	少人数と身体間距離確保(1名/8㎡、畳4枚)	原則マスク着用 距離をとればマスク外して可	1時間以内	2~3週
段階2	チーム内に感染者や濃厚接触者がいない*1。	地域の多くの学校やスポーツ部活動の再開。	相手と組む練習導入 。打ち込み(立技、寝技)、技指導など。	人数制限、身体間距離確保(2名/16㎡、畳8枚)。	原則マスク着用 息苦しい時は距離をとりマスク外す	1時間程度 組まない・30分 組む30分	2~3週間
段階3	所属施設や近隣地域に感染者の著しい増加がない*2。	学校や地域でのコンタクトするスポーツ*3の一部再開。	乱取り(立技・寝技)練習と試合稽古。軽めの乱取りから通常練習へ。	人数制限、身体間距離確保(2名/16㎡、畳8枚)。	競技者以外は原則マスク着用	2時間以内 組まない・60分 組む60分	4週間以上 前半2週は軽めの乱取りとする。
段階4	開催地域に感染者の著しい増加がない。	国内移動制限緩和ないし解除。いくつかのフルコンタクトスポーツの試合再開	移動制限緩和地域での 通常練習・地域大会 の再開。解除されれば全国大会も可能。	無観客または観客人数制限(主催者の判断)	地域と大会主催者の判断	制限なし	

【V3】(改定)

表：段階的練習・試合再開(指針改訂 Version 3) 2021/02/07

段階	柔道練習・試合の内容	人数制限(目安)	マスクの着用	練習時間	段階の期間
段階1	相手と組まない練習：受身、トレーニング、一人打ち込み、指導など。	身体間距離確保(1名/8㎡、畳4枚)	原則マスク着用 息苦しい時は距離をとりマスク外す	1時間程度	1週程度
段階2	相手と組む練習。打ち込み(立技、寝技)、技指導など。	身体間距離確保(2名/16㎡、畳8枚)。	原則マスク着用 息苦しい時は距離をとりマスク外す	2時間程度 組まない1時間 組む1時間	1週程度
段階3	乱取り(立技・寝技)練習と試合稽古。軽めの乱取りから通常練習へ。出稽古は原則行わない。	身体間距離確保(2名/16㎡、畳8枚)。	競技者以外はマスク着用 競技者も競技中以外は着用	制限なし	
段階4	試合の再開。地域と全国の感染状況に応じて、主催者が判断する。	無観客または観客人数制限(主催者の判断)	競技者以外はマスク着用 競技者も競技中以外は着用	制限なし	

2. 本文の主な改訂

【追加】

第2章 一般的事項

- 8) ワクチンについて

第3章 練習上の留意点

- 7) 出稽古の問題点と注意点
- 8) 練習、試合当日の発熱者の対応と分散練習について

第4章 試合上の留意点

- 2) 大会参加者・関係者に対する PCR 検査
- 4) 試合前に濃厚接触者がチーム内で出たが感染者はなかった場合の考え方
- 8) 国際試合

第5章 選手団の海外への派遣と海外選手の受け入れ対応

- 1) 選手団の海外への派遣
- 2) 海外選手の受け入れや練習・宿泊の問題点

【大きな修正】

第3章 練習上の留意点

- 1) 段階的練習計画
 - ・表と同じ変更。

第4章 試合上の留意点

- 3) 選手への対応
 - ・選手の試合参加の入場プロトコールを明文化

第6章 感染者と濃厚接触者の報告

- ・感染報告書のフォーマットを変更。

【削除】

(旧) 第5章 他のスポーツ団体の動向

(旧) 第6章 参考資料のまとめ

以上